

頭痛薬と抗生剤の飲み合わせ

薬剤師のアプローチ	患者さんの既往歴から抗生剤との相互作用の懸念あり、患者さんが持参したお薬手帳から併用薬を確認し疑義照会を行い、併用問題ない抗生剤に変更となった。
回避した不利益	クリアミン錠に含有されるエルゴタミンとクラリスロマイシン併用により、血管攣縮のリスクが増大する。
患者情報	男性
原疾患/既往歴	風邪で受診。 慢性頭痛で病院通院中。
処方情報	クラリスロマイシン錠 200mg 2錠 ほか、対症療法の処方薬 併用薬：クリアミン配合錠 A
概要	風邪症状で近隣の開業医を受診。併用薬を確認したところ、継続中のクリアミンと併用禁忌のクラリスロマイシンが処方されていることが判明。医院に疑義照会を行い、クリアミンと併用問題ない抗生剤に変更となった。
まとめ	患者さんの併用薬を確認し、処方された薬剤と飲み合わせが悪いことがわかり、医師に提案して処方内容が変更になった事例です。医師が併用薬を確認できなかったり、患者さん自身が医師に併用薬を伝えなかったりすると、こういった事例が起きてしまいます。的確に併用薬を把握することができるので、お薬手帳は必ず携帯するようにしましょう。